

ジェネリック医薬品国内市場の主要24薬効領域を調査

- 2010年のジェネリック医薬品は3,597億円、医療用医薬品市場の5.2%を占める予測 -

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 阿部 界 03-3664-5811）は、医療費削減を目指し行政による促進策が活発な国内ジェネリック医薬品（後発医薬品）の市場を薬効領域別、企業別に調査・分析した。その結果を調査報告書「2008 ジェネリック医薬品データブック」にまとめた。

この調査では、診療報酬点数表における後発医薬品に属するものをジェネリック医薬品とし、生理食塩水と漢方製剤を除いている。

ジェネリック医薬品とは、新薬（先発医薬品）の特許満了後に発売された、同じ有効成分で新薬に比べて薬価が低い医薬品である。

近年のジェネリック医薬品を取り巻く環境は変化している。処方箋は06年4月に後発医薬品へ変更可の場合に医師がチェックする様式に変更されたが、08年4月には一転して変更不可の場合にチェックする様式へと再改定された。また、08年4月は調剤報酬も変更され、調剤薬局は扱う処方箋枚数の30%以上に後発医薬品が含まれていれば調剤基本料に加算出来るが、30%以下ならば従来の調剤報酬に比べ減少につながる事となった。さらに、07年からは年2回（7月と11月）の後発医薬品の薬価収載が開始されている。

このような行政による促進策を受け、DPC（診断群分類に基づく医療費の包括請求制度）導入病院では注射剤を中心にジェネリック医薬品の採用が増えているほか、経口剤も切り替えに積極的な病院もある。しかし、ジェネリック医薬品採用の進み具合には地域差が見られる。

企業動向としては、中堅の新薬企業がジェネリック医薬品の取り扱いを開始し順調に実績を伸ばしているほか、大手医薬品企業も参入している。さらに、外資系のジェネリック医薬品企業が日本市場に参入しており、世界で上位にランキングしている企業の日本進出が活発に行なわれている。

< 調査結果の概要 >

	07年	10年予測	伸長率
ジェネリック医薬品市場	3,062億円	3,597億円	117.5%
医療用医薬品市場	6兆5,290億円	6兆8,929億円	105.6%
ジェネリック医薬品構成比	4.7%	5.2%	

ジェネリック医薬品市場は拡大が続いており、10年には3,597億円、医療用医薬品市場の5.2%を占めると予測される。医療用医薬品市場の07年比5.6%増であるのに対し、ジェネリック医薬品市場は同17.5%増と大きく成長する。この要因として、独立行政法人化以前の国立病院でのジェネリック医薬品の処方促進や、03年のDPCの開始、前述の処方箋様式の改定などが挙げられる。DPC導入病院では注射剤にジェネリック医薬品を採用するところが多い。DPC導入病院は準備病院を含め1,433病院で今後も増えていくと見られるため、ジェネリック医薬品の注射剤市場は拡大が予測される。ジェネリック医薬品の経口剤は注射剤と比較して切り替えが進んでいなかったが、処方箋様式改定後は生活習慣病分野を中心に実績を伸ばしている。

07年の医療用医薬品市場に占めるジェネリック医薬品の構成比が高い領域は、薬効領域別に見ると、消毒剤（含嗽剤含む）・褥瘡治療剤（20.1%）、輸液製剤・栄養剤・ビタミン剤（生理食塩水除く）（17.8%）、痛風・尿酸血症治療剤（16.4%）、抗ウイルス剤（13.0%）である。市場規模では、保険点数上後発品扱いの製品を含む輸液製剤・栄養剤・ビタミン剤（生理食塩水除く）（446億円）、降圧剤以外の循環器器官用剤を対象としたその他循環器器官用剤（346億円）などが大きい。

10年に07年と比較して市場の伸びが大きい薬効領域は、降圧剤（300億円、07年比65.7%増）統合

失調症治療剤(29億円、同61.1%増) 糖尿病治療剤(82億円、同57.7%増) 体内診断薬(120億円、同57.9%増) 抗がん剤(175億円、同54.9%増) などである。降圧剤、統合失調症治療剤、糖尿病治療剤は大型製品の特許切れによりジェネリック医薬品が発売されること、体内診断薬、抗がん剤はDPC導入病院などで採用が増えることから、各ジェネリック医薬品市場の拡大が予測される。

<注目薬効領域>

1. 降圧剤

	07年	10年予測	伸長率
ジェネリック医薬品市場	181億円	300億円	165.7%
医療用医薬品市場	8,467億円	8,800億円	103.9%
ジェネリック医薬品構成比	2.1%	3.4%	

降圧剤は、高血圧症の治療に用いられ、Ca拮抗剤、ACE阻害剤、遮断剤などでジェネリック医薬品が発売されている。2000年にACE阻害剤の「レニベース」(万有製薬)、06年にCa拮抗剤の「コニール」(協和発酵キリン)、08年7月にCa拮抗剤の「ノルバスク」(ファイザー)、「アムロジン」(大日本住友製薬)のジェネリック医薬品が発売された。シェア上位ブランドである「ノルバスク」「アムロジン」のジェネリック医薬品は08年の注目製品であり、好調な実績が見られる。

2. 抗がん剤

	07年	10年予測	伸長率
ジェネリック医薬品市場	113億円	175億円	154.9%
医療用医薬品市場	5,401億円	6,225億円	115.3%
ジェネリック医薬品構成比	2.1%	2.8%	

抗がん剤は、最新の先発医薬品が市場の上位を占めていることからジェネリック医薬品の構成比は低い。しかし近年、先発品を販売している企業がジェネリック医薬品の販売を開始し、専門MRによるプロモーション活動などを行っていることから、がん診療拠点病院でもジェネリック医薬品の採用が見られる。今後も、ジェネリック医薬品の採用が進めばジェネリック医薬品市場が伸長する見通しだが、抗がん剤は専門的な情報提供を要求される領域であることから、市場にジェネリック医薬品の存在感を確立できる企業は他領域よりも少ないと予測される。

3. 体内診断薬

	07年	10年予測	伸長率
ジェネリック医薬品市場	76億円	120億円	157.9%
医療用医薬品市場	1,440億円	1,430億円	99.3%
ジェネリック医薬品構成比	5.3%	8.4%	

体内診断薬は、造影剤(X線造影剤、MRI・超音波造影剤) 放射性医薬品などがある。ジェネリック医薬品で最も規模が大きいのはX線造影剤の尿路・血管造影剤である。従来、造影剤はジェネリック医薬品が普及しにくい領域といわれていた。しかし、入院医療費が定額となるDPC導入病院の増加により状況が変わり、殆どの病院で採用されている。シェア上位ブランドの「オムニパーク」(第一三共)、「イオパミロン」(バイエル薬品)のジェネリック医薬品が実績を拡大させている。また、08年8月に「マグネビスト」(バイエル薬品)のジェネリック医薬品が発売され、今後X線造影剤だけでなくMRI造影剤の市場も立ち上がると見られる。

4. 糖尿病治療剤

	07年	10年予測	伸長率
ジェネリック医薬品市場	52億円	82億円	157.7%
医療用医薬品市場	2,679億円	3,465億円	129.3%
ジェネリック医薬品構成比	1.9%	2.4%	

糖尿病治療剤は、トップブランドである「ベイスン」(武田薬品工業)のジェネリック医薬品がジェネリック医薬品市場の上位を占めている。生活習慣の欧米化や高齢化社会の進展で糖尿病患者は増加を続けており、今後、100億円以上の実績をもつ大型製品のジェネリック医薬品が発売されれば、ジェネリック医薬品市場の更なる拡大が見込まれる。

以上

< 調査対象 >

薬効領域編 (24 領域)	企業編 (29 社)
降圧剤 その他循環器官用剤 抗生物質 抗ウイルス剤 抗真菌剤 統合失調症治療剤 その他精神神経疾患治療剤 上部消化管疾患治療剤 その他消化器官用剤 抗アレルギー剤 喘息・COPD治療剤 その他呼吸器疾患治療剤 高脂血症治療剤 糖尿病治療剤 痛風・高尿酸血症治療剤 解熱消炎鎮痛剤 (外用剤含む) 抗がん剤 体内診断薬 変形性関節症治療剤・抗リウマチ剤 骨粗鬆症治療剤 消毒剤・褥瘡治療剤 泌尿器疾患治療剤 輸液製剤・経腸栄養剤・ビタミン剤 眼科用剤	沢井製薬 東和薬品 大洋薬品工業 日医工 / ティコクメディックス 富士製薬工業 大正薬品工業 日本ケミファ ニプロファーマ あすか製薬 明治製菓 日本化薬 マイラン製薬 小林化工 共和薬品工業 キョーリンリメディオ エルメッド エーザイ 昭和薬品化工 扶桑薬品工業 辰巳化学 丸石製薬 サンド 日本点眼薬研究所 岩城製薬 大原薬品工業 三和化学研究所 アルフレッサ ファーマ 日本ジェネリック ホスピーラ・ジャパン 田辺製薬販売

< 調査方法 >

富士経済専門調査員による調査対象企業及び関連企業・団体等へのヒアリング調査及び関連文献、社内データベースを併用

< 調査期間 >

2008年9月～11月

資料タイトル : 「2008 ジェネリック医薬品データブック」 体 裁 : A4判 381頁 価 格 : 200,000円 (税込み210,000円) 調査・編集 : 富士経済 東京マーケティング本部 第二事業部 TEL:03-3664-5831 FAX:03-3661-9778 発 行 所 : 株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2 - 5 F・Kビル TEL:03-3664-5811 (代) FAX:03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL : http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ https://www.fuji-keizai.co.jp/
